

老人クラブ三大活動

健康

友愛

奉仕

# ねんりんおうみ

第90号

米原市近江老人クラブ連合会発行 電話 0749 (52) 4393



今朝いきて  
明日は来なむと言ひし子が  
朝妻山に霞たなびく  
柿本人麻呂  
万葉集 巻第十

朝妻湊方面から日撫山(朝妻山)を見る



## 「コロナ禍での折り返し点に立つて

近江老人クラブ連合会

副会長 堤 正純

令和二年度の近江老人クラブ連合会は北村会長を船頭として、新制度のサポート委員三名を含めた総勢十名で船出しました。

年間行事は評議員会議・ふれあい体育祭・親睦旅行・近江高齢者大会等々それなりに忙しい(?)かと思われました。しかし年明けから徐々に広がったコロナ感染に因り、緊急事態宣言発出とまでなり、各行事の遂行を悩ませました。

特に皆さんが楽しみにされていた、ふれあい体育祭の中止が二年連続となった事は苦渋の思いでした。

その反面、「三密」等々の感染予防対策の下、その年にこそ意義の有る「近江高齢者大会」を無事に開催でき、参加して下さった方々の笑顔に接する事ができたのは、この上ない喜びでした。

その他、日赤奉仕団・社協との共催で婦人部長、役員さん参加の「防災非常食体験会」や研修旅行に替わる「指導者研修会(講師・栗木剛先生)」を開催できました。

また、友愛訪問については、友愛品のクッションの他にボランティアグループ「のぎく」さんの協力を仰いだ手作りマスク一枚を添えて実施頂いたところ、好評だったと聞き及んでいます。

これらは、ひとえに各単老の会長・婦人部長さんを始めとする会員皆様方の御協力・御理解を頂いた賜物と感謝申し上げます。

「コロナの収束は先行き不透明ですが、手探りながらも活動を進めたいと思っております。

老ク連の愛称を募集したところ、五十九通もの応募を頂戴し、去る四月の評議員会議で「近江シニアクラブ」に決まりました。皆さんに馴染んで貰えるように色んなところに使いたいと思います。

また、本年度の新規事業として「近江地域再発見スタンプラリー」を九月過ぎを目途に開始するべく準備を進めています。閉じこもりがちになる私たち高齢者の筋力低下予防や仲間作りの推進を目的としています。

詳細は6頁に載せていますので自由に気軽に参加して下さい。

さらに、昨今の会員減少問題の一策になればと、所属する自治体に老人クラブが無くて老ク連の行事に参加することが出来る様に「個人会員募集」も始めました。個人でも少人数でも老ク連のイベントに参加して頂くとうと考えています。こちらも、募集要項は5頁に掲載しています。

何事に付きましても老ク連だけでは成し得ません。

会員各位皆様の御支援、御協力をお願い申し上げますと共に、楽しい企画・提案の声を老ク連迄お届けください。

どうぞ一緒にあって「老人会」を楽しみましょう。

# 令和3年度 近江老人クラブ連合会役員名簿

【敬称略】

役 職		氏 名	字 名	役 職		氏 名	字 名
会 長		北 村 正 博	世 継	体 育 部	部 長	中 野 光 夫	高 溝
副会長(厚生友愛部兼務)		堤 正 純	宇賀野		部 員	中 川 雅 晴	長 沢
教養部	部 長	高 居 芳 美	能登瀬		サポ-ト委員	藤 田 一 雄	舟 崎
	部 員	古 野 芳 幸	多和田	監 事	廣 田 治 夫	寺 倉	
	サポ-ト委員	木 田 勝 幸	寺 倉		北 村 喜代嗣	宇賀野	
厚生友愛部	部 長	堤 正 純	宇賀野	事務局(創造推進員)	北 川 惣 一	多和田	
	サポ-ト委員	吉 野 和 雄	世 継				

字 名	単老名	会 長 名	女性部長名	世帯数	会 員 数		
					男	女	計
多和田	大宝クラブ一	○北 沢 活 実	○北 川 美代子	54	29	46	75
	大宝クラブ二	北 川 昭 夫	北 川 保 子	58	32	45	77
能登瀬	長寿会松組	○堀 要	○堀 要	38	27	16	43
	長寿会竹組	○古 野 正 雄	○古 野 正 雄	42	28	23	51
寺 倉	寿 会	廣 田 治 夫	河 居 幸 子	43	30	40	70
舟 崎	長 生 会	田 口 康 雄	藤 田 静 枝	27	17	19	36
高 溝	長 生 会	村 居 輝 夫	高 田 鈴 江	42	30	33	63
母の郷NT	シニア会	北 村 清		25	16	20	36
長 沢	長 生 会	中 川 雅 晴	上 田 きよ子	25	12	18	30
宇賀野	鶴 寿 会	北 村 喜代嗣	田 中 美和子	59	39	39	78
	亀 寿 会	○北 村 喜代信	○谷 村 明 子	100	74	74	148
世 継	福 寿 会	世 森 善 明	北 村 ひろ子	92	46	72	118
合 計				605	380	445	825

○印は2単老クの代表者です。



単老ク会長、女性部長会議と  
朱印帳手作り体験会開催

7月2日(金)午前9時よりやすら  
ぎハウスにて開催されました。

米原警察署交通課 橋本警部補よ  
り高齢者が関係する滋賀県内での事  
故状況や交通安全の講和をお聞きし  
た後、議事に入り

- ・本年度友愛訪問用にお渡しする  
品物を、昨年同様にクッション  
と決定

・米原市老ク連主催「高齢者ス  
ポーツ大会」の出場チームを抽  
選にて決定しました。

会長、女性部長会議の後、朱印帳  
手作り体験会を開催。  
その様子を写真でお知らせします。



橋本警部補より  
交通安全の講和を聞く

令和3年度 第31回高齢者スポーツ大会種目別出場チーム表

	グラウンドゴルフ	ペタンク男子	ペタンク女子	公式ワナゲ男子	公式ワナゲ女子
近江老ク連	多和田	多和田	多和田	能登瀬	舟崎
	能登瀬	舟崎	寺倉	舟崎	長沢
	母の郷	長沢	宇賀野	母の郷	宇賀野
	世継	高溝	世継	世継	世継
伊吹老ク連	大久保	大久保	伊吹A	大久保	大久保
	伊吹	伊吹A	伊吹B	伊吹	伊吹
	上野	伊吹B	春照	高番澤	高番澤
	春照	春照	村木	杉澤	杉澤

大会日 令和3年9月17日(金曜日) 場所 長浜バイオ大学ドーム  
 8:50 選手集合  
 9:00 開会式 9:20 準備体操 9:40 競技開始 11:50 競技終了 解散  
 ・選手は8時50分までに長浜ドームに集合してください  
 ・各チームゼッケンを準備願います(グラウンドゴルフは除く)  
 ・用意できない場合は事務局まで連絡願います



完成した朱印帳



# 単老だより

「これから」が

「これまで」を決める

多和田 京極眞了

「コロナウイルスは、遠くよその国のように思っていました。あつという間に、私たちの足元にまでやってきました。高齢者とは他人事のように思っていました。いつの間にか、その高齢者の仲間入りです。」

本川達雄（東工大名誉教授）さんの著書「生物学的文明論」によりまずと、ソウモネズミもヒトも心臓は15億回で打ち止めだそうです。

ヒト（生物）としては、人生50年、もういつ死んでもおかしくないのですが、医療の進歩や上下水道の衛生施設など、さまざまな技術のおかげで、人間の寿命ははるかに延びています。だから遺暦を過ぎた人間は、「人工生命体」というのです。人生の前半はヒトとして、後半は人工生命体という、二部構成できているのです。

生物学的にみれば、ヒトとしての品質保証期間はすでに切れているのです。

そう言われてみると、髪の毛は抜け、歯は欠け、目はかすみ、朝夕の薬は欠かさず飲むなど、賞味期限切れの毎日です。しかし、考えてみると、第二の人生は付録で儲けもの人生です。

だからこそ、このおまけのいのちを無駄にしないで、自分を大事に、他の人とのつながりを大切に、未来の子どもたちにも責任をもった生き方をしたいものです。

最後に、永六輔さんの言葉を紹介しましょう。

「生きているということは、誰かに借りをつくること。生きていくということは、その借りを返してゆくこと」



大宝クラブ 健康体操と歌声喫茶

一日も早く

かけがいのない日常を

舟崎 田口康雄

昨年一月頃から全世界に猛威をふるっている「コロナウイルス感染症」、今年になってもまだ収束せず変異株と変わって存在しています。

予防ワクチン接種に期待して感染症がおさまることを願っています。

会員皆様は「コロナ禍の中で気づかれたことがいろいろと感じられた方がおられると思います。当たり前と思っていた日常は当たり前ではなく、かけがえないものであり、そして感謝すべき日常でしたと感じ思われたいのではないのでしょうか。」

「コロナ禍の中で舟崎長生会は食事等会合すべて中止しましたが、友愛訪問（年2回）・物故者追悼法要（2月）、そして神社・社務所清掃・木々の葉刈り等の奉仕活動を行っています。」

奉仕作業は熟練の方もおられ参加者全員成し遂げた結果はきれいで美しくなります。休憩時は日頃会っていないのでお茶を飲みながらいろいろ話が盛り上がります。これも一つのふれあいと思われま。

無理をせず長生会活動を行っていきます。

今年近江老ク連の方がスタンブラリーを立案計画されています。舟崎区も昔ながらの見るところがあります。

是非とも見に来てください。



「コロナ禍の中で  
どのように活動を行うか？」

近江母の郷N・T

シニア会 北村 清

新型コロナウイルス感染症が流行する現在、息苦しい日常生活が続いています。外出時のマスク着用、手洗い、うがいの励行、密になる所へ行つてはいけない、集団での飲食禁止等々、非日常とも言つべき生活が続いています。

このような非日常の中で、リスクが高いと言われている高齢者集団の活動をどのようにして実施するか、難しい課題です。

シニア会基本理念の「親睦・健康・友愛・奉仕」の一つでも何とかして実現したいとの思いで役員会で検討を重ねました。

その結果、感染対策を万全にして



廃品回収、花壇の植栽、新年会と総会を開催することとなりました。

花壇の植栽は役員のみで行うこととなりましたが、廃品回収、新年会と総会は会員参加のもとに実施することとなりました。

新年会は、賀詞交歓会形式で、食事会の代わりに弁当とお祝いのみかんを持ち帰ってもらうこととし、三十分間で行うこととしました。

当日、参加者はマスク着用、入場前に検温と消毒を行い、席はデイスタンスをとり、窓は開放して換気を万全にするという念の入れようでした。

参加された会員の方々は久しぶりの再会で、お互いの無事を喜び合い、三十分間という短いひと時でしたが意義深いものがありました。総会も同様の対応で実施することができました。

一日も早くコロナ禍が収束して会員の皆さんが仲間と日々を

楽しみ合い、笑顔で

おしゃべりをし

お互いの健康を

喜び合える日が

来ることを

願っています。



### 令和3年度評議員会議開催

令和3年度評議員会議が4月20日午前9時30分よりやすらぎハウスで開催されました。

コロナ禍での会議となり各単老会長への参加となりました。

米原市社会福祉協議会吉田事務局長様のご出席を賜り、議長に村居輝夫様が選任され、各議案について慎重審議の結果、いずれも原案とあり可決、承認されました。

### 活動方針

少子・高齢化が進む中で、心豊かで活力に満ちた長寿社会を構築するためには、高齢者が地域社会の一員として自立し、長年にわたって培ってきた知識や技術を生かして、社会で活躍することを期待されています。それに応えるために老人クラブ活動の方針として、全国三大運動として

の「健康、友愛、

奉仕」の精神を

掲げ高齢者が互

いに支えあい、

新しい時代にふ

さわしい積極的

な活動を推進し

てまいります。



### 老人クラブ連合会の充実

#### 個人会員募集 企画部

昨今の社会風潮は、合理性を求めた個人主義的な姿だとか。

各自自治会の老人会も年ごとに会員数が減り、思うような事業運営が出来ないとの声が聞こえてきます。

それらの原因は多々あるとは思いますが、主要因は「会員諸氏の高齢化」と「入会者の減少」に在ると思えます。

去る4月20日の近江老人クラブ連合会(以下、老ク連とする)の評議員会議では、「何か趣味趣向の活動を実施してはどうか。」と云うことです。

確かに、現在の老ク連では、事業幅が広がり、活動に困難が予測されることから趣味の会事業などは行っていないませんが、将来的には、その様な方向も検討しなければならぬのではないのでしょうか。

今年度より、老ク連では「個人会員」の募集を始めました。個人会員とは、老人クラブが結成されていない自治会のなかで、個人的に「近江老ク連の活動を一緒にしたい」「ふれあい体育祭に参加したい」とのご意向を持っておられる方々に、個人会員として入会して頂くという考え方です。

興味のある方はぜひご検討下さい。

### 個人会員募集

加入条件：単位老人クラブを持たない自治会員や老人クラブはあるが近江老人クラブ連合会未加入クラブの会員が対象  
会費：年間千円(通信費等)議決権並びに助成金等はありませんがイベント事業には参加できません

・加入希望者は気軽に事務局へ連絡ください

近江老ク連事務局 ☎ 52-4393



### 今朝行きて

明日は来なむと言ひし子が

朝妻山に霞たなびく

(万葉集・巻第十 柿本人麿歌集より)

日無山は、古くは朝妻山とも言った。

「明日は帰ると言い残し、今朝出て行ったわが妻の朝妻山に春霞が白くたなびくが見える」(諸説あります)





私たちが何気なく暮らしている近江地域。  
 実は気が付いていない場所や建物がいっぱいあります。  
 コロナ禍の今こそ訪ねてみませんか。  
 各自治会に今流行の消しゴムハンコのスタンプを用意しました。  
 このラリー専用の朱印帳を手作りしていただける講座も行います。  
 もちろんお持ちの朱印帳やノートでもOK。  
 さあ、天気の良い日を選んで家族や友達と誘い合って出かけましょう。  
 参加は子供さんから高齢者までどなたでもOKです。

出発

◎スタンプ設置場所と駐車場は地図で確認してください



完成

廻る手段は徒歩、自転車、車等、各自の体力に合わせて廻ってください。

集落内はどこも狭いため交通安全には特に留意しましょう。

車は駐車場に止めてできるだけ歩きましょう。

駐車場、スタンプ設置場所は別紙の地図を参考にしてください。

朱印帳が完成したら最後にやすらぎハウスへ来てください。受付で記念品を進呈します。

スタンプラリーは9月の開始を目指して、現在準備中です。

### 朱印帳手づくり教室のご案内

近江スタンプラリー専用の朱印帳を手づくりします。6枚の用紙を糊付けし表紙を貼り付けます。

自治会名はあらかじめ印刷してあります。表紙はご自身の好きな紙(千代紙等)や布(風呂敷や端切れ)を使います。無い人にはいろいろな端切れを老ク連で準備しています。ある程度の申込人数がある場合は、自治会館等で出来るよう手配します。申し込み人数が少ない場合はやすらぎハウスにて行います。

老ク連所属の老人クラブ会員は無料で制作してもらいます。

その他一般の皆様は材料費として500円いただきます。どなたでも参加できます。

お問い合わせは近江老人クラブ連合会 TEL 52-4393へ

またはお住いの各老人クラブ会長が役員までご連絡ください。



Objet(オブジエ)体験記  
教養部サポート委員  
木田 勝幸

最近、私達高齢者、ドライバーの車が重大事故を起こしたり、高速道路を逆走したりするニュースが増えてきました。

何時も一緒に乗っている家族が私達の運転について「若い頃に比べてヒヤリとする時が多くなってきた、運転が下手になってきた」と感じている人も多いのではないで

運転技能自動評価システム (Objetオブジエ) とは？

ドライバーの運転行動を車・頭・足に取り付けたセンサーとGPSでリアルタイムに計測し、コンピューターで具体的に運転技能を評価するシステムです



しょうか。  
「経験を積み、運転が上手になってきている」、心身機能の衰えを自覚し「慎重に運転するようにしている」と自分では思っているのです。

今回、米原警察署で、運転技能を評価するシステム「運転技能自動評価システム「Objet(オブジエ)」の体験機会を得ましたのでご報告します。

車・運転者の頭・運転者の右足に取り付けた三つのセンサーとGPSで計測したデータをコンピューターで解析して、長年の運転で身についた運転習慣やクセをグラフ化したデータで確認し、そのデータを見ながら、今後の運転についてアドバイスを受ける事が出来ます。

米原警察署を出発し、いつも以上に注意をしながら20分程市内を走行しました。

交差点や一時停止での「進入速度、タイミング、確認の深さ、確認時間」等が計測され、自らグラフ化されたデータを見ることで、自分自身では気がついていない運転習慣やクセを知ることができました。右左折時は「ちゃんとできている。やっている。」の思い込みで運転していましたがオブジエで計測した結果、「確認したつもりであった」ことが理解できました。

今まで自分では気づかなかつた右左折時の確認の弱さがわかり、今後の運転に役立つと感じました。

私達、高齢者の中には長い運転のキャリアがあり、自身の運転能力を過信している人もいますが、確実に心身機能は衰えていきます。いつまで運転を続けられるのか、今回のオブジエやドライブレコーダー等で計測した客観的なデータで冷静に判断する事も大切です。

でも、私達が住むこの田舎では不便になりマイカーは手放せません。車がないと買い物にも友達にも会えません。人生を楽しむには車が必要です。「自動運転が早く実現すれば良いのにと」思うのは、多くの高齢者に共通する願いですが、当

分は自動ブレーキや、アクセルとブレーキの踏み間違いによる急発進抑制装置をつけた車等を利用しながら、心身機能の衰えを自覚しながらの安全運転を心掛けていきたいと思えます。

Objet (オブジエ) についてのお問い合わせは  
滋賀県警察本部 交通企画課  
高齢者交通安全推進室 ふれあいチーム  
電話 077-522-1231 (代表)  
平日 8:30~17:00

令和3年度 無事故・無違反運動 実施中

7月1日(木)～10月31日(日)

第56回 あわない・起こさない シルバー無事故・無違反運動

第56回 交通安全 職域別 無事故・無違反運動

- ・湖国から 広げてつなごう 無事故の輪
- ・滋賀の道 互いを気遣う ゆずり愛
- ・ぎむ化だよ 自転車ほけん おやくそく

滋賀県交通安全無事故運動実行委員会





愛称が決定しました

米原市近江老人クラブ連合会の愛称は  
**近江シニアクラブ**  
に決まりました



昨年の89号で「近江老人クラブ連合会の愛称」を募集させていたいただきましたが、総数59の愛称が寄せられました。

なかでも「近江」を用いたものが33点もありました。「近江」を誇りとする方々が多いのかなあ。

ユニークなものとしては「目指せ百歳クラブ」⇨そう有りたいですネ。

次に「琴詩酒の会」⇨何と高尚で深いものでしょうか。

そして「ちえぶくろ」⇨高齢者の知恵、自負できるものでしょうネ。

また、「シルキークラブ近江」というネーミング⇨柔和で穏やかな心持と、近江地域特産の真綿⇨という説明がつけられていました。

これらの応募作品のなかから数点を先の理事会で選考し、それを4月20日の評議員会に提案。

評議員の皆様にご投票していただき、多数決で決定しました。選ばれたのは舟崎の藤田一雄さんの作品でした。多数の応募を頂き、ありがとうございました。

老人クラブ連合会に対して多くの方々が熱い気持ちを持っておられることを痛感いたしました。

こぼれ話 教養部

知恵袋

『愛称募集』に応募された作品の中に「ちえぶくろ近江」という名称があった。

この知恵袋。小学四年生の頃、先生が「君達には知恵袋がある。わからない時、疑問があるとき、考えれば知恵袋から色々の知恵が湧き出てくる」とおっしゃった。

「知恵袋」を国語辞典でひくと「知恵⇨物事を判断し、計画し処

理する心の働き。知恵袋⇨ありつたけの知恵」としている。果たして、辞書に記す内容が明解なのだろうか。

私たちの知り得ている知恵袋とは、生活のなかで知り得た物事への考え方と、その方法の蓄積。この意味合いは辞書と同じである。しかし、大きく異なること、それは「長い歴史のなか、日々の生活のなかで経験し蓄積してきた物事への対処の仕方」なのである。すなわち、経験、語り伝えられた記憶、学び得た知識と思考などの蓄積。これが知恵袋であり、ここから湧出する物事への対応、これが知恵なのだろう。

しかし、今を生きる私達は、豊かさを求め発展を目指すなかで、生活の充実を図り、さらには、自己を尊重する社会を形成してきたが、その反面、科学的・合理的・直接的などの考え方がDNAに組み込まれ、その結果、かつての様な「切磋琢磨する社会」から、合理性を追求する個人主義の社会へと変貌してゆくと言われている。

果たして、個人主義で合理的・直接的に結果を求める社会で良いのだろうか。それで、将来の社会

が形成されるのだろうか。

人が集まらず困惑する各種の団体。末端行政が存続し得ない自治会。「まちづくり」が出来ない。など。

そして「\*\*が悪い」「誰かがするだろう」と責任転嫁。これでは、地域社会は崩れてゆく。

今こそ、高齢者パワー、知恵袋を活かす時ではないだろうか。「三人寄れば文殊の知恵」とも言う。

各単老で！  
近江老ク連で！



今こそ現状打開の機運を起す、その機会ではないだろうか。

この様な意味合いから、応募名称の「ちえぶくろ近江」は、現代社会の中に在って、時節を反映していると思います。そして、

「お前たちには知恵袋がある。考えれば色々の知恵が湧き出てくる」

あの、小学校の先生の言葉が偲ばれます。